

意外なところに原因があるんですよ！

最近、ホームセンターで簡単に手に入るコーキング材。でもこのコーキング材って、使い方を間違えると大変！。

コーキング材の一般に市販されている種類には、「シリコン系」「ウレタン系」「変成シリコン系」があります。注意なのは、「シリコン系」です。下の写真を見てください。なんか金属の部材の周りがやたら汚れていませんか？これがシリコンの油と呼ばれている現象です。「シリコン系」のコーキング材は塗りやすい上に、透明色があるためにやたら塗っても目立たない気がします。ただし、塗った直後だけは。この材料は油分を揮発する上に、塗料も他のコーキング材もくっ付かない特徴があります。数年すると写真の様に油が揮発し、その上に汚れが付いて汚くなってしまいます。私たちは、外壁のメンテナンスのお仕事を頂くと、コーキングのチェックをします。もしもこの「シリコン系」が外壁に使われている場合は、きれいに撤去して、撤去する前よりも一回り大きめに「変成シリコン系」などのコーキング材に打ち替えます。外壁に油が飛んだみたいな汚れが気になったら、使っているコーキング材を疑ってみてください。汚れの原因って、意外なところにあるんですよ！！



シリコンの油でタイルが黒ずんでいます。



掃除をして変成シリコンに打ち替えました。

発行：意外と思う事でも私たちは出来ます。(有) 渡辺賢工務店